

自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

「港区まちづくりビジョン」に基づき、区民の意見を反映する区政運営を横系、「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦系として、横系と縦系が交わる強いネットワークで、区民主体のまちづくりをめざし取り組んだ。地域活動協議会の自律的な運営が持続的に進められ、地域活動と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策が両立できるよう、また、アフターコロナを見据え、地域実情に即した支援を行ってきたこともあり、地域活動協議会の認知度は順調に向上している。

防災面においては、新型コロナウイルスの感染状況の影響で計画どおりの実施に至らなかったものもあるが、地域との協議を行い、基本的な感染症対策を徹底しながら、少人数に限った訓練や学習会の実施を行うなどの工夫を凝らしながら取組を支援した。今後も地域と連携し、大規模災害時における「自助」、「共助」、「公助」の役割分担を踏まえながら、地域の防災力強化を進めていく。

防犯面では、警察や地域等と連携し、防犯知識の普及、啓発活動を行うとともに、犯罪抑止のため防犯カメラの設置や子ども見守り隊活動に対する支援を行った。また、特殊詐欺や SF（催眠）商法が増えており、関係所管や地域とも連携をして注意喚起の啓発をした結果、SF（催眠）商法の事業者を区外に撤退させることができた。

また、産業振興やにぎわい創出では、企業によるキャリア教育プログラム、公民連携による先端技術を活用した自然環境探索の社会・実証実験の他、フィールドワークや工場見学会、未利用地活用を軸としたワークショップ等によるにぎわい・まちづくりの推進など、「港区エリア別活性化プラン」による新しい取組を進めて公民地域連携を展開する活動の基盤を固めてきた。

これらの成果を次年度以降に活かしていくとともに、引き続き区民主体のまちづくりを進めていく。

解決すべき課題と今後の改善方向

【経営課題1 区民主体のまちづくり】

区民主体のまちづくりをより一層進めるためには、アフターコロナの状況下において、地域における様々な活動を自律的かつ持続的に進められるよう支援するとともに、地域活動協議会をはじめ企業や NPO などの様々な活動主体の連携・協働を促進し、多様な主体が協働するマルチパートナーシップを進めつつ、それらの活動を積極的に情報発信していく。

【経営課題2 安全・安心・快適なまちづくり】

地域防災力の強化のためには、地域の自主防災組織による防災学習会等の継続的な取組が有効であることから、実施に向けた支援を続けていく必要がある。また、大規模災害時における「自助」、「共助」、「公助」の役割分担のもと、迅速かつ確な対応が行えるよう、今後も引き続き区の特性を踏まえた防災対策を着実に進めていく。

防犯面では、警察や地域等との連携を強化し、街頭犯罪や特殊詐欺等の発生状況に応じた、臨機かつ機動的な防犯活動の展開が必要である。

【経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり】

各地域における地域福祉活動計画の推進支援や要支援高齢者の見守り、障がい者等への相談支援、児童虐待の防止、区民の健康増進等の各取組を進めてきたことで一定の成果は出ているので、引き続き地域福祉の推進や要支援者を支えるセーフティーネットの充実を図り、高齢化が進む中、医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、要支援者の生活を支えるサービスを総合的かつ継続的に提供する体制「地域包括ケアシステム」の構築及び推進に関して特に重点的に取り組んでいく。

【経営課題4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり】

「子どもの学び」の応援については、家庭学習の習慣づくりの促進はコロナ禍で自習室を開設することができないなどさまざまな要因で目標を達成することができなかったが、区の特長や強みを活かしながら学校支援に努めてきた。今後は、学校の長期休業期間中に質問対応できる自習室を、こどもの居場所の側面を併せ待って開設することで、家庭学習促進と不登校対策を進めていく。また、小規模であることによって教育環境に課題が生じている学校への支援と環境整備に向けた検討などに取り組んでいく。

「子育て世代」への応援については、子育て支援機関や地域の子育て支援団体等との連携を強化し、地域の身近なところで気軽に相談できる機会の提供等、安心して子育てできる環境づくりを進めていく。また、市における待機児童解消に向けた取組と連携しながら、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実をめざす。

【経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり】

区内には、市岡商業高校跡地などの遊休資産があり、令和4年度の段階では具体的な方針が未定となっているため、弁天町駅周辺エリアでは駅改造など民間の開発動向を踏まえ、地域、事業者、行政がエリア全体のまちづくりの方針を共有したうえで、市岡商業高校跡地における民間活用をはじめとしたまちづくりを推進していく。また、大阪港駅周辺エリアや朝潮橋駅周辺エリアでは、公園、緑地などについて、多様で新しい活用ニーズが活かされていないことから、関係部局と規制等を再検討して、これら公共空間の活性化を図っていく。

【経営課題6 区民意見を反映した区政運営】

令和4年度の区政会議では、コロナ禍に関わらずオンライン参加を併用し、Web上でも会場の出席者全員を見通せる配席にして活発な議論を行えるよう実施した。委員アンケートにおいて、「最低限必要な資料にまとめてほしい」、「自由討議の時間が欲しい」といった意見もあったことから、今後はすべての委員が発言できる機会や時間が持てるよう、会議進行や開催手法の見直しを図り、より良い区政会議の運営に取り組んでいく。

経営課題 | 区民主体のまちづくり

戦略 | 豊かなコミュニティの促進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 人と人とのつながりづくり	撤退・再構築基準未達成	・地域活動協議会が形成され10年が経過し、地域活動団体や多様な主体間との協力・連携が深まるとともに、より幅広い住民の参加が進み、地域実情にあった様々な活動が展開されている。 ・アフターコロナを踏まえながら、各地域の取組を支援するとともに、多様な広報媒体を活用して人と人とのつながりづくりの大切さについて幅広く情報発信していく。
(2) 地域活動の活性化	目標未達成	
(3) コミュニティ育成支援	目標達成	
(4) ひと・まち・まなびをつなぐ生涯学習の推進	目標未達成	

【目標未達成状況】

(1) 区民モニターアンケートにおいて、住んでいる地域では日頃から「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じると回答した割合 [目標]: 55%以上 ⇒ [実績] 47.1%

<改善策> ・アフターコロナにおいて再開される地域活動について、「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」などの人と人とのつながりづくりに焦点を当てた広報紙面やSNS記事を作成、掲載することにより、区内で取り組まれている地域コミュニティづくりを幅広く周知する。

・住民や区内企業等、区内に在住、在勤する全ての人たちに関わる防災をテーマとしたイベントを継続して開催し、マンション住民を含んだ地域住民の連携に取り組む。

(2) 区民モニターアンケートにおいて、各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じていると回答した割合

[目標]: 50%以上 ⇒ [実績] 49.1%

<改善策> アフターコロナにおいて再開される各種地域イベントや区役所主催の催し等の機会を活用し、啓発活動に取り組むと共に、区HPやSNSを活用した情報発信を行う。引き続きオンラインの活用など活動の多様化に応じた地域活動の支援を地域の実情に即して行う。

(次頁に続く)

【目標未達成状況】

(4) 区民モニターアンケートによる「コロナ禍が収束した際には、過去の経験も含めて生涯学習活動で身に付けた知識・技術等の成果や人とのつながりを、ボランティア活動や地域活動、他人への学習指導等に活用したいと思う」と回答する割合 [目標]: 45% 以上⇒ [実績] 34.3%

<改善策> 関係先とも連携を密にして、アフターコロナの状況下の活動が活発になっていることも踏まえ、各事業に迅速に反映するとともに、生涯学習の裾野を拡大するためにも事業の周知に引き続き努めていく。

戦略1-2 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域活動協議会の自律的運営の支援	目標達成	・アフターコロナの状況下において、地域における様々な活動を自律的かつ持続的に進められるよう支援するとともに、様々な活動主体の連携・協働を促進し、多様な主体が協働するマルチパートナーシップを進めつつ、それらの活動を積極的に広報していく必要がある。
(2) 地域課題解決に向けた取組の支援	目標達成	
(3) 地域活動協議会の認知度向上のための支援	目標達成	

経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり

戦略2-1 防災対策の強化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域防災の活動支援	目標未達成	・新型コロナウイルスの感染状況の影響で、訓練や防災学習会については、全ての地域での実施には至らなかった。大規模災害時における「自助」、「共助」、「公助」の役割分担のもと、迅速かつ的確な対応が行えるよう、今後も引き続き区の特性を踏まえた防災対策を着実に進めていく。
(2) 防災リーダーの育成	目標達成	
(3) 津波避難ビルの確保	目標達成	
(4) 災害時避難行動要支援者への取組み	目標達成	

【目標未達成状況】

- (1) 避難所開設訓練を実施した地域 [目標]: 11 地域 ⇒ [実績]: 7 地域
 地域防災学習会を実施した地域 [目標]: 11 地域 ⇒ [実績]: 9 地域

<改善策> 地域と協議を行い、基本的な新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数に限った訓練や学習会の実施を検討する等、効果が限定的であったとしても継続的な取組の推進を図る。また、感染拡大により訓練等の実施が困難になった場合を想定し、集合を必要としない地域防災活動の支援を検討する。

戦略 2 - 2 防犯対策の強化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域防犯・安全対策	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の緩和とともに、住民の外出機会も多くなり、犯罪発生件数のうち、特に自転車盗が大幅に増えている。また、SF（催眠）商法等の啓発を積極的にしてきたが、サポート詐欺など新たな手口の詐欺が発生している。

【目標未達成状況】

(1) 区民モニターアンケートにおいて、「街頭犯罪に対する備えを日ごろから行っている」と回答した割合

〔目標〕：62.8%以上（かつ前年度実績以上） ⇒ 〔実績〕：61.1%

<改善策> 新たな特殊詐欺に対し、合同地域会長会などの機会を通じて、区からの情報発信を積極的に行い、区民に注意喚起を促す取り組みを進めている。また、自転車盗への対策については、鍵の施錠の啓発や防犯教室など区民の防犯意識が高まるよう、警察や地域とも連携しながら啓発や活動を積極的に行う。

戦略 2 - 3 生活環境の向上と改善

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 特定空家対策	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家への適切な指導を行うとともに、空家の利活用を促進し、特定空家に対する啓発や特定空家に陥らないための啓発を広報紙等により行った。 ・特定空家は未登記物件が多く、また、所有者死亡で法定相続人が多数存在する事例も多いため、市税事務所や契約管財局との連携を密にして、継続的に啓発をしていく。

経営課題 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

戦略3-1 地域福祉の推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域福祉活動計画の推進支援	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期港区地域活動計画を策定するにあたり参画してきた。 ・また、民生委員児童委員協議会・港地域ネットワーク委員会合同で、ヤングケアラーをテーマにした研修会を講師を招き行った。 ・高齢者等の相談や見守り支援を行い、地域における住民主体の福祉コミュニティづくりを促進したが、長引くコロナ禍で外出機会も減った中、活動の地域差があり、行事や集まりの場も減った。 ・ハイブリッド型で専門職向けの認知症講演会、一般向け認知症講演会を開催し、認知症に関する正しい知識の啓発を行った。また、認知症連絡会・認知症地域代表者級会議を開催し、関係機関との連携強化を図った。今後も 手法を凝らしながらより認知症や予防に関する啓発を推進する。
(2) 高齢者等要援護者の見守り支援	目標未達成	
(3) 認知症支援ネットワークの充実	目標未達成	

【目標未達成状況】

(2) 要援護者からの相談延べ件数 【目標】：4,800件 ⇒ 【実績】：3,120件

<改善策> 令和5年度は、行事や外出の機会が増えていくことが予想され、人材の育成の場も確保されていき、相談数は増加が見込まれる。

(3) 認知症施策推進組織代表者級会議のメンバーに対するアンケートで「認知症支援のための関係機関の連携が進み、早期発見、早期診断の仕組みが機能している」と答えた人の割合： 【目標】：80%以上 ⇒ 【実績】：73%

<改善策> ・「講演会」や「認知症学ぼう会」の他、広報活動により、認知症についての啓発を行う。

・「認知症施策推進組織代表者級会議」が今年度から廃止されるため、「地域包括支援センター運営協議会」の場で、認知症の人やその家族を地域で支援するため、保健・医療、介護・福祉の関係機関連携を行う。

戦略3-2 地域包括ケアシステムの構築

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 在宅医療・介護連携の推進	目標達成	・在宅医療・介護連携に関する推進会議や専門職向け研修会を開催し、関係機関と連携して取組を進めた。今後も、実務者会議を中心にこれまでの課題やニーズを整理し、創意工夫しながら、多職種の連携を強化し、区民の理解を深める取組を進める。

戦略3-3 セーフティネットの充実

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 高齢者等要援護者の見守り支援【再掲】	目標未達成	<p>・地域と支援機関が連携し、高齢者や障がい者等の支援の必要な方の相談や見守り活動を行うことで、住民主体で支えあう福祉コミュニティづくりが図れている。</p> <p>・コロナ禍において、一部事業の変更があったが、児童虐待未然防止・早期発見機能の強化のため、保育施設へのアウトリーチ等により、虐待リスクの判断や対応についての指導や助言を行い、関係性づくりに努めた結果、保育施設等からの相談ケースが増え適切な支援につなげる等連携強化が図れた。</p>
(2) 乳幼児発達相談事業の強化	目標達成	
(3) 発達障がい児の養育者支援	目標達成	
(4) 児童虐待未然防止・早期発見機能の強化・DV被害者の支援	目標達成	
(5) 障がい者・高齢者虐待の防止の取組み	目標未達成	
(6) 生活困窮者対応の充実	目標達成	
(7) こどもの貧困対策の推進	目標達成	

【目標未達成状況】

(5) 障がい者・高齢者虐待防止連絡会議のメンバーに対するアンケートで「関係機関との連携により、虐待事案の早期発見、迅速・適切な対応が行われている」と答えた人の割合： 【目標】：80%以上 ⇒ 【実績】：69%

<改善策> ・虐待防止連絡会議のメンバーからの意見を元に、事例を通じて虐待防止に向けての検討を重ねる。・令和3年度と比較して高齢者虐待通報案件は、36件から13件増加している。通報や相談件数を増やし、早期に介入できるように虐待防止に向けて広報啓発を実施する。

戦略3-4 健康寿命の延伸

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区民の健康増進	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自宅待機等による受診予約キャンセルがあり、特定健康診査の受診率は目標値に達しなかったが、取組は予定どおり実施した。 ・事業者のノウハウを活用した各種健診の受診率向上のための健康セミナー・出張健診の実施（区内6地域）、ユーチューブによる健康情報の提供など、引き続き、健康寿命の延伸や健康増進に向け受診しやすい環境整備や積極的な広報など、受診率の向上に向けて取組を進める。
(2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上	目標未達成	

【目標未達成状況】

(2) 保健福祉センターで実施した肺がん・乳がん検診を併せた充足率： [目標]：80%以上 ⇒ [実績] 63.6%

<改善策> 区広報紙やホームページによる周知や広報紙関係団体への広報依頼など計画どおり実施し、未受診者等への積極的な受診勧奨に取り組む。
特定健康診査についても、引き続き取組を進める。

戦略3-5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区における人権啓発推進・人権相談	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組の業績目標は達成したが、戦略のアウトカム指標（「一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と答えた割合 目標45.7%に対し39.4%）は達成できなかった。これは、取組みに接していただくことができなかった方にも、人権意識の向上に結びついた方から波及的に拡がることの難しさによるものと考えられる。取組は有効なため、引き続き「レインボーカフェ 3710」や他区と連携した人権展の実施、やさしい日本語の普及や地域とともに多文化共生にも取り組むことで、指標の達成を目指す。

経営課題 4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり

戦略4-1 「子どもの学び」の応援

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 子どもの学力・体力の向上	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの具体的取組の各業績目標は達成しながらも、戦略のアウトカム指標（「授業時間以外の1日あたりの勉強時間」が少ない旨で答えた児童・生徒の割合が3%以上改善した小中学校の数：目標11校に対し7校）は達成できなかった。 ・コロナ禍で自習室の開設はできなかった。令和5年度には、質問に対応できるスタッフを配置した自習室の開設など新たな取組の外、学習の継続意欲の向上に繋がる「将来への夢や希望」の育成に向けたキャリア教育など、さまざまな手法で多様な学びの応援に取り組んでいく。 ・小規模校であることによるさまざまな課題の解消・軽減と、よりよい教育環境の整備に向け、保護者や地域と対話しながら、検討していく。
(2) 子どもの教育環境の向上	目標達成	
(3) 青少年の健全育成の推進	目標達成	

戦略4-2 「子育て世代」の応援

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 子育て支援機関との連携強化・子育て支援情報の充実	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て世代」の応援については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定の変更や一部の事業が中止となったが、積極的に子育て支援情報の発信に努めた。引き続き子育て支援機関や地域の子育て支援団体等との連携を強化し地域の身近なところで気軽に相談できる機会の提供や安心して子育てができる環境づくりを進めていく必要がある。 ・市における待機児童解消に向けた取組と連携しながら、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実をめざす必要がある。

経営課題 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

戦略5-1 地域資源を活かしたまちの活性化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 産業振興・次世代人材育成支援事業	目標未達成	・次世代を担う人材育成事業によるプロダクト開発について、「大阪万博への来場者に港区で楽しんでもらうには？」をテーマに小学生のアイデアを募り、「コスプレイベント」を採用したが、コロナ禍の影響もあり、イベント開催には至らなかった。
(2) 港区の魅力発掘・創出	目標未達成	・令和3~4年度にかけて「みなトクモン」の新規登録がなく、PRグッズの作成・配布やイベントでの登録店舗の出店依頼を行うなど広報に努めたものの、「みなトクモン発掘レクチャー」等が開催できなかったこともあり、新たな魅力の発掘・発信には至らなかった。

【目標未達成状況】

(1) 次世代を担う人材育成事業によるプロダクト（企画）開発 [目標]：1件以上 ⇒ [実績]：0件

<改善策> これまでに「チャレンジポート」事業で採用されたモノの中には、製品化後改良の余地のあるモノや試作品段階のものもあり、令和4年度に採用された「コスプレイベント」も含め、2025年大阪・関西万博までにイベント実施、及びより良いカタチにしていく。

(2) 発掘レクチャー等を通じた新たな魅力発信 [目標]：1件以上 ⇒ [実績]：0件

<改善策> 2025年大阪・関西万博を見据え、公民連携により地域資源を活かした港区の魅力を発掘して積極的に情報発信し、地域経済の活性化をめざす。

戦略5-2 港区エリア別活性化プランの推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 港区エリア別活性化プランの推進	目標達成	<p>・港区エリア別活性化プランにより、区内にある資産・資源を活用したまちづくりの取組を進め、また、公民連携により地域や民間人材の発想や行動力を活かした多様で創造的な活動が進むよう、シティプロモーション会議などを開催するとともに、公民地域連携プラットフォームである「みなと先端技術推進協議会」による実証・社会実験を実施し、まちづくりに向けた動きを加速することができた。次年度以降は、これらの成果を継承して、漠然とした形ではなく、区民総体が具体的な形で活動成果を実感できるよう、目的を絞り施策の重点化を図っていく。</p>

戦略5-3 まちづくりに向けた行政資産等の活用

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討	目標未達成	<p>・建設の進捗に関する情報発信は行ったが、区民参加型運営プラットフォームの検討は十分ではなく、事業の内容や運営に関する情報発信は十分とはいえない。会館の開業スケジュールを見据えて、効果的な情報発信を進めていく必要がある。</p>

【目標未達成状況】

(1) 区民モニターアンケートにおける、「(仮称)区画整理記念・交流会館」の認知度 【目標】：50%以上 ⇒ 【実績】39.2%

<改善策> 交流会館の事業内容や運営に関して、区民に必要・十分な情報発信を行なっていくが、広報紙などの既存の媒体（1方向の情報発信媒体）にのみ依存するのではなく、区民との意見交換などを組織的に行いながら、広範囲に認知を得るとともに、区民参加型の運営の方針を定めて、実際の運営に反映する仕組みを構築していく

経営課題 6 区民意見を反映した区政運営

戦略6-1 区の広聴・広報事業

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 多様な区民の意見・ニーズの的確な把握	目標未達成	・「区民モニターアンケート」「市民の声」「み・な・と改善箱」「ツイッター」「フェイスブック」など、さまざまなツールを活用して区民の意見・ニーズの把握に努めてきたが目標達成には至らなかった。広報・広聴ツールを工夫し、区民の意見やニーズをより把握していく必要がある。
(2) 区政情報の積極的な発信	目標未達成	・区広報紙や広報板、区ホームページ・ツイッター・フェイスブック・YouTube等、区政情報を積極的に発信してきたが、目標達成には至らなかった。それぞれの広報媒体の認知度を高めるとともに、タイムリーな情報発信を行う必要がある。
(3) 区民の参画と協働による区政運営	目標達成	・区政会議は、コロナ禍に関わらずオンライン参加を併用し、Web上でも活発な議論を行えるよう実施した。今後は、すべての委員が発言できる機会や時間が持てるよう、会議進行や開催手法の見直しを図り、より良い区政会議の運営に取り組んでいく。

【目標未達成状況】

(1) 市民局実施の区民アンケートにおいて、区役所がさまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると思うと回答した割合

〔目標〕：60%以上 ⇒ 〔実績〕46.6%

<改善策> 現在の取組を継続して行うとともに、区広報紙や区ホームページ、SNSを積極的に活用し、区役所が区民の意見やニーズを把握するツール等の周知を行う。また、新たな広報・広聴ツールについても検討していく。

(次頁に続く)

【目標未達成状況】

(2) 市民局実施の区民アンケートにおいて、区のさまざまな取組（施策、事業、イベントなど）について行っている情報発信により、必要な時に必要な情報が届いていると思うと回答のあった割合 [目標]: 60%以上⇒ [実績] 49.3%

<改善策> 編集事業者とも協議しながら、読者目線でわかりやすく魅力ある区広報紙を作成し、区のさまざまな取組（施策、事業、イベントなど）について情報発信するとともに、区ホームページやSNSでの情報発信についても積極的に取り組んでいく。また、新たな広報ツールについても検討していく。

戦略6-2 区民が利用しやすく、信頼される区役所づくり

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 窓口業務におけるサービスの向上	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度窓口サービスの格付けの結果は、2年連続で星3つ(評価点 4.5 点以上)を獲得することができ、目標を達成することができたが、引き続き接遇研修を実施し、全職員の接遇能力を向上させるとともに、区民が快適で利用しやすい区役所となるよう区役所庁舎内すべての案内表示等の点検を行う。
(2) 効率的な区行政の運営の推進	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の不適切な事務処理事案の発生件数は6件と、不適切な事務処理事案が増加しており、職員の意識改革及び再発防止の取組を強化する必要がある。

【目標未達成状況】

(2) 不適切な事務処理事案の発生件数（公表ベース） [目標]: 過去3年平均件数（3.7件）の10%減の3件以下 ⇒ [実績]: 6件

<改善策> 不適切事務の発生を未然に防止するため、区課長会や庶務担当係長会等を通じて、重要管理ポイント等のルールの重要性を再周知するとともに、各内部統制員による組織的な進捗管理を徹底する。発生した事案について、詳細な原因分析と効果的な再発防止策の取組強化に努める。

「市政改革プラン3.1」に基づく取組等

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 歳入の確保（独自財源の確保）	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の広告収入については、前年度を大きく上回ったが目標には未達成であったため、継続して広告の募集を行い、収入の確保に取り組む。駐車場収入や自動販売機使用料収入については、入札により目標額を下回る結果となったことから、今後の目標設定は市況を十分に考慮するものとする。また、新たな広告媒体の募集を行うなど、目標達成に向け、収入の確保に取り組む。 ・ 全国的な光熱水費の高騰に伴い、庁舎維持管理運営経費において決算額が前年度に比し上回る結果となったものである。光熱水費の高騰など今後も市場の動向に注視し、より一層の事務効率化を目指し、経費削減に向けて取り組む。 ・ (仮称) 区画整理記念・交流会館の運営スキームについて、関係部局との調整を行い、根拠条例や運営方法の枠組みの整理を行った。
(2) 歳出等の削減	目標未達成	
(3) 市民利用施設の見直し	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 広告料収入や目的外使用料収入など区独自財源の確保

- ・ 広報紙、ホームページバナー等 [目標]：3,300 千円 ⇒ [実績] 3,031 千円 (R3: 2,074 千円)
- ・ 庁舎壁面、モニター広告等 [目標]：3,600 千円 ⇒ [実績] 2,688 千円 (R3: 3,605 千円)
- ・ 自動販売機の設置使用料 [目標]：3,100 千円 ⇒ [実績] 2,458 千円 (R3: 2,474 千円)
- ・ 駐車場収入 [目標]：3,900 千円 ⇒ [実績] 3,458 千円 (R3: 3,501 千円)
- ・ 古紙売却代 [目標]：100 千円 ⇒ [実績] 146 千円 (R3: 27 千円)

<改善策> 広告主を確保するための手法を検討するとともに、引き続き庁舎敷地等を活用した新たな収入の確保に努める。

(2) 庁舎維持管理運営経費・一般管理費について、令和3年度決算額以下の達成 [目標]：73,776 千円以下 ⇒ [実績] 79,491 千円

<改善策> 光熱水費の高騰など今後も市場の動向に注視し、より一層の事務効率化を目指し、経費削減に向けて取り組む。